



祝・人間社会学部一期生！ようこそ同窓会へ！

15年度卒業生内定先／母校でもう一度学びませんか？/学生課長のひとりごと

# 目白大学同窓会報

同窓会会員数 人文学部2222人 + 人間社会学部326人 合計 2548人 **Vol.4**

「目白同窓会報」の新しい名前を募集しています。  
また、名前の投票も受付しています。詳しくは  
同窓会ホームページ <http://mejiro-dosuou.org/> にて

時を経て深まるつながり

一言コメント

一撃コラム

平成15年度目白大学同窓会定例総会報告

# 祝・人間社会学部一期生！ ようこそ同窓会へ！

3月15日に人間社会学部ではじめての卒業式が行われました。  
このページでは人間社会学部一期生のコメントを紹介します。

人間社会学部 1期生 宇田川 香織



先輩のいない新宿キャンパスの一期生として試行錯誤し、時には多くの人の助けを借りて仲間と様々な問題に取り組みながら学生生活を過ごしてきました。特にこの一年は、自分自身の進路を決定すると同時に、同窓会新宿支部を立ち上げるために10人の有志とともに四月から話し合いを重ねてきました。

校友会（目白短期大学部同窓会）の野口会長や大学同窓会の山本会長など諸先輩方の助言を頂き、新宿キャンパスの卒業生は既存の目白大学同窓会に入会することになりました。四年間過ごしてきたキャンパスの場所は違いますが、それぞれの支部の特色を生かし、前向きに取り組む、未長く続いていく卒業生主体の目白大学同窓会をつくっていったらいいなと思っています。

学生生活を振り返ると、辛い事以上に仲間と笑い転げたことを多く思い出されます。その中での貴重な体験や人との出会いは、私の無形の財産となっています。これから先も数多くの新しい出会いがあると思いますが、どれ一つとして同じ出会いはないでしょう。だからこそ、今までの仲間を大切にしていきたいと思っています。

次に再会する時は、お互いに綺麗に歳を重ねていきたいです。

人間社会学部 1期生 大野 真智子



大学生活最初の思い出といえば、フレッシュマンセミナーを思い出す。クラス全員で桜を見たり、山に登ったり、レクのために出し物の練習をしたり・・・

メディア表現学科では、班ごとに出し物をして交流を深めた。その出し物があったおかげで、班の子たちと仲良くなれたし、自分のクラスのカラーが見えたと思う。

私の属したメディアA組はにぎやかなクラスだった。クラスで旅行にいったこともある。こんな大人数で出掛けられたのも、このクラスだからこそしみじみ思う。決してバカではなくちゃんとした大人なのに、いい意味でアホで子供なのである。クラスごとの必修授業も、ときに面白おかし、みんなの発言や意見に刺激される毎日だった。

メディア表現学科は個性あふれる人たちがばかりだったように思う。大学に通うことは、メディア表現学科という遊び場に遊びに行くようなものだった。

授業は実践的でみんなも私も夢中になった。その中で刺激し合い、自分の世界を広げていったことは、自分にとてもプラスになった。

人間社会学部 1期生 佐藤 香織



この原稿を書きながら大学生活4年間を思い返してみる。大学は高校までとは違い、自分から積極的に行動していかなければいけないところだと思っていたので、友達と硬式テニス部を作り、クラブ協議会にも入った。一期生という先輩のいない環境の中で、何から始めればいいのか、何をしていけばいいのか分からなかったため、1年目は考えるばかりで行動を起こすことができなかった。2年目から後輩が入ってきたことで少しずつ動き始め、3年目にはクラブ協議会で新宿キャンパスでは初めての学校行事として「スポーツフェスティバル」を開催できた。

楽しかったことも、苦しかったこともたくさんあった。一期生だからこそできたこともあった。思い返してみると、4年間で経験したこと全てが、今の自分にとっての良い経験となっている。

人間社会学部 1期生 小田木 千尋



誰もが思うように、長いようで短い4年間でした。私は、その短い時間の中でたくさんの仲間と出会うことができ、思い切り自分でやりたいことができました。

多くの仲間ができたことにより、自分自身の価値観が広がり自分では見いだせない世界観を味わえ、色々な経験ができました。これは、社会に出る私にとってかけがえのない財産になりました。

私が大好きな言葉に「人には見せず水鳥の足」というのがあります。課外活動を理由に全てやるのが中途半端になっている時期に、ゼミ担当の内田教授に教えられた言葉です。水鳥は水面下で足をたくさん動かしながら体を浮かしている。何でもできて努力をしていないように見える人でも、人に見えないところで必死になって勉強をしていたり、活動したりしているのだ。「みんな頑張っているのだから頑張れ」という応援の言葉だったのです。

これからは社会人として困難に立ち向かわなくてはなりません。その時はこの言葉を思いながら乗り越えて行きたいと思います。4年前の自分を比べると、大きく成長できたと確信できます。そして、たくさんのエールをもらって卒業できる私は、幸せ者です。

人間社会学部 1期生 奥山 裕美



夕日で赤く染まった校舎を背にしなが友人との帰り道、この坂をみんなと下るのも四年目なのだなと今頃になって気付いた。

友人作りが私の学生生活のスタートだった。偶々隣席になった人に話しかけたのが最初のきっかけ。友人達はもう覚えていないかもしれないけれど、私自身をなんとか知って貰おうと必死になって話しかけていたあの頃は、私にとって良い思い出だ。そこから友人の輪が一人二人と広がって、気が付いたら心を許せる仲間が両手では足りない程になっていた。もちろん長い日々の中で涙した事もある。でもそれ以上に笑い合う日々の方が多かった。必要な時にきちんと叱ってくれ、楽しい時には一緒に笑い、悲しい時には一緒に泣いてくれる。それが私の大切な、そして私の大好きな仲間だ。

面と向かってはなかなか言えないけれど、一生涯付き合っていけるような友人が沢山出来た私は本当に幸せ者だと思う。みんなと出会わせてくれたこの目白大学に、ありがとうと言いたい。それぞれ進む道は違うけれど、また集まって馬鹿騒ぎが出来ればいいな。

## 「新宿キャンパス学生課からのエール！」

これからは新しい世界への旅たちになりますが、粘り強さ・温かさの精神を忘れずに「目白っ子」魂を世界へ振り撒いて下さい（小野）大学で学んだことを一つ一つ社会で生かし、それぞれの目標に向い、「いつも明るく太陽のような心で！」邁進して行ってください（寺門）若さと言う可能性とそのバイオニア精神を武器にますますのご活躍をお祈りいたします（山岸）学生時代の仲間は一生の財産になるはず。人間社会学部一期生として誇りを持って、そして、たくさんの後輩のためにも負けなでください。活躍を祈っています。（間嶋）別々の道を歩きはじめると、学友という仲間がどんなにすばらしいものか時の経過とともにわかってくると思います。お元気で～素敵な人生を（保健室 三輪）



# 1 5 年度卒業生内定先

景気回復の徴候が見えてきたと言われていますが、就職難の時代は未だに続いています。その中で本年度卒業生が勝ち取ってきた主な内定企業を掲載します。（2月末までに報告のあったデータを元に作成しています。）

- ・アールピバン
- ・アイフル
- ・青山商事
- ・浅野製版
- ・旭広告社
- ・アパグループ
- ・アビバグループ
- ・アルピオン
- ・あんボックス
- ・コミュニケーション
- ・安楽亭
- ・育美会里見歯科医院
- ・伊勢丹
- ・インターフェイス
- ・ウィズ
- ・ウィルソフト
- ・エイ・アイサービス
- ・エイエイピー
- ・エイブル
- ・エスパー
- ・エルベック教育図書センター
- ・岡村製作所
- ・オリジン東秀
- ・オンデーズ
- ・ガイア
- ・かみなか農薬舎
- ・キャンドウ
- ・協栄物産
- ・近畿日本ツーリスト
- ・久治会 せきや眼科
- ・クレディセゾン
- ・京成バス
- ・KDS
- ・ゴーイング
- ・国際法務総合事務所
- ・コスモ証券
- ・埼玉リコー

- ・さがみ農業協同組合
- ・三景
- ・三幸グループ
- ・三晃商事
- ・産能コンサルティング
- ・サンブリヂ・リアル
- ・エステート
- ・三陽商会
- ・ジェイアール東海パッセン
- ・ジャーズ
- ・ジェイティービー
- ・静岡県立静岡ガンセンター
- ・資生堂販売
- ・シダックス
- ・社会福祉法人エンゼル福祉会
- ・ジャパンプリントシステム
- ・城南進学研究社
- ・叙々苑
- ・スカラベ
- ・スターツ
- ・セルティフィエ
- ・ソフトバンクBB
- ・ソリューション
- ・第一生命保険
- ・大黒屋
- ・大成社
- ・ドクターシーラボ
- ・たけうちグループ
- ・社会福祉法人 竹生会
- ・チャーミーたなか
- ・ディートライ
- ・デイクアあーとの国
- ・デニーズジャパン
- ・田園都市厚生病院
- ・東急ライフィア
- ・東京日産自動車販売
- ・ドコモ・システムズ

- ・トステム
- ・ドリームアンドドリーム
- ・ニッケージェンシー
- ・日建レンタコム
- ・日産プリンス神奈川販売
- ・ニッシン
- ・日本エス・イー
- ・日本文字放送
- ・日本ワークス
- ・NOVAグループ
- ・八広社
- ・光通信
- ・ビックダイブ
- ・ビッグネットワークサービス
- ・ファイブフォックス
- ・福田屋百貨店
- ・フジフューチャーズ
- ・ブックサービス
- ・フランドル
- ・ブルームフォーラム
- ・ポップインターナショナル
- ・マイテック
- ・松井ピ・テ・オ
- ・マルヤ
- ・ミツワ電機
- ・目白学園
- ・メルシーフラワー
- ・安田生命保険
- ・やまと
- ・ヤマトシステム開発
- ・谷村信用組合
- ・ユニマットオフィスコ
- ・よしや
- ・ララプラン
- ・理論社

- ・アースレティ
- ・富士写真フィルム
- ・ミツワ硝子工芸
- ・神戸製鋼所東京本社
- ・サンワ
- ・山芳製菓
- ・ヤマモリ
- ・ナカヨ電子サービス
- ・東洋産業
- ・埼玉ナショナル建材
- ・ファーストリテーリング
- ・堀川産業
- ・日栄インテック
- ・エス・エス商事
- ・コナカ
- ・三陽商会
- ・田中興産
- ・市田
- ・エービーシーマート
- ・ピュア
- ・ビックカメラ
- ・石丸電気
- ・ケーズデンキ
- ・アカギ
- ・キャンドウ
- ・ニトリ
- ・大川
- ・ドン・キホーテ
- ・キャピタル
- ・ポッカクリエイト
- ・和光商事
- ・上海エクスプレス
- ・カッパクリエイト
- ・マミーマート
- ・ベシニア
- ・三徳
- ・さえき

- ・九州屋
- ・カワシマゴールド
- ・IEグループ
- ・大成社
- ・富士薬品
- ・飯塚薬品
- ・せき薬品
- ・ウェルパーク
- ・トヨタビスタ東埼玉
- ・セントラル自動車
- ・埼玉トヨペット
- ・埼玉日産自動車
- ・チョイス（エネスタ）
- ・ニッシン
- ・ジャイコム
- ・ハウジング恒産
- ・サカイ引越センター
- ・NOVA
- ・ホテル京阪
- ・秀文社
- ・俊英館
- ・リバース東京
- ・ダイナム
- ・ガイヤ
- ・コミー
- ・セントラルスポーツ
- ・エスイーブランニング
- ・ダイサン
- ・ゲイン
- ・トータルシステム
- ・ライフコミュニケーション
- ・発髪クリニックリープ21
- ・キャッツ
- ・メガネフレーザー

15年度卒業生内定先  
でもう一度学びませんか？  
母校 学生課長のひとりごと

目白大学エクステンションセンター

## 母校でもう一度学びませんか？

目白大学エクステンション講座は、生涯学習への社会的ニーズの高まりに応え、また大学の地域開放に貢献するため、平成12年に新宿キャンパスでスタートしました。

「語学」「資格・キャリア」「文芸・教養・生活」「パソコン」の分野で春期、秋期それぞれ150講座を開講しています。これまでの受講者数は6,000人を超えています。

平成15年秋期からは、岩槻キャンパスでもエクステンション講座が始まりました。岩槻市はもとより春日部市、さいたま市、蓮田市、越谷市など地域の方々が目白大学で生涯学習をスタートしています。その中には同窓生の顔もチララ・・・同窓生の皆さんには入会金無料で受講できる特典もあります。お気軽にご連絡ください。

受講受付

電話：03-5996-3181（月～金曜日9:30～17:00／土曜日9:30～15:00）

FAX：03-5996-3141 電子メール：extension@mejiro.ac.jp

ホームページ：http://www.mejiro.ac.jp/japanese/ext/

## 学生課長のひとりごと

財産の再分配を期待します！！

人文学部学生課課長 石月 亨

「自由」という言葉は、今の卒業生の皆さんはどのように感じていますか。おそらく学生時代の自由が懐かしくなっている頃ではないでしょうか。

自由であることは同時に与えられないこと、自らが求めていく姿勢がないといたずらに時間が過ぎるのみ。自らが求めていけば自分でも気づいていなかった可能性に気がつき、将来に希望が生まれてくるのだと思います。

しかし社会へ出た以上、たとえ自分のことではあっても自身の意志だけで行動できる機会とはそうはありません。そう考えると学生時代は、最小限の制約の中で自分の意志で自分の行動を決定できる、人生の中で唯一の時期ではないでしょうか。

皆さんの学生時代、もともと何もない大学の草創期は、すべて自分たちの意志で求めていくことしかなかったはずです。換言すれば、皆さんは貴重な経験を財産にすることができ、大変恵まれていたといえます。

本学に限ったことではありませんが、残念ながら昨今の学生たちはせっかくの「自由」を十分満喫していないようです。おそらく皆さんの目にもそう映っているのではないのでしょうか。

皆さんには、その財産を今度は草創期にある同窓会の基盤づくりに向けてほしい。そしていつでも大学に来て、後輩たちを叱咤激励することを通して、その財産を分け与えてほしいと思います。



# 時を経て深まるつながり

卒業をして、日々の生活に追われてしまうと、どうしてもキャンパスとは疎遠になってしまいます。残念なことですが、しかしながら、現在もなおそれぞれのやり方で、後輩たちと交流をおこなっている同窓生の姿もそこには確実に存在しています。今回は、その中から、清水さんと菊間さんを紹介いたします。

## 五臓六腑に染み渡る ～ 八極拳と私 ～

人文学部一期生・清水 洋介

私が目白大学を卒業してから、はや6年が過ぎようとしています。しかし、あまり大学への懐かしさは感じません。今なお毎週土曜日となると、私は必ず岩槻キャンパスへ通っているからでしょう。回数を計算すると、年間で50回弱になると思われます。これほど頻繁に、しかも継続して出入りしている卒業生は、間違いなく私一人でしょう。

普段の私はシステムエンジニアとして、毎日、蟻のように勤務しています。月の残業時間が100時間を超えることもめずらしくありません。これは労働基準法などに少々抵触するでしょうけれど、きっちり全額支給されるのでいいかなと思っています。

しかし、毎週土曜日となるときっちり岩槻キャンパスへ赴きます。何をしにいくかという、八極拳部で八極拳の指導をするためです。まだやってたの？と思われる方も多いでしょう。まだやっています。なにそれ？っていう方は



残業の疲れも見せずに指導をする清水さん

惜しいことをしました。目白大学には八極拳という中国武術を鍛錬する部活が存在していた、いや、いるのです。今なお。

八極拳の練習は、地味でいてツライものが多いです。学生達は悲鳴を上げながらも、毎週よく集まってくれるなあ、といつも感心しています。よほどマゾっ気が、もとい、自分に試練を与えたいという高尚な精神の持ち主達なのでしょう。私を筆頭に。

課外活動団体は、所属する人数が10名を下回ってしまうと、団

体として認められなくなってしまう。

しかし不思議なもので、毎年何人かは八極拳を志すものが現れます。去年はなんと5人も現れました。まあ、そのうち3人は去ってしまいましたが。なにしろ「来るもの拒まず、去るもの追わず」なので、創部以来、部存続の危機は継続中ですが、この調子で続けていけたらいいと思う次第です。



この日、シゴキ(?)を受けていた、岩本君(左・春より大学院)里村君(右・同じく人文2年)

## 竹刀を振って10年目

## 積み重ねた寒稽古

人文学部二期生・菊間 隆浩



冷えた床を踏みしめて早期稽古に励む菊間さん

皆さんは寒稽古をご存じでしょうか。簡単に説明しますと、剣道部が1月に行う合宿のことです。しかし関係者の間では、合宿という言葉では片付けられないほど重い意味を持っています。

寒稽古中は朝5時に起床。眠気と闘いながら稽古着に着替え、夜明け前の暗さと寒さの中を体育館に向かいます。素足では板張りの床がやけに冷たく感じ、白い息が嫌というほど寒さを実感させます。そして、寒さを忘れるほどの激しく、厳しい稽古が始まるのです。学生時代は考えただけで気が重くなりました。

実はこの寒稽古、目白大学の開学年数と同じになるようにと、1年ごとに1泊増えていくことになっていて、10周年の今年は10日間となっていたのです。とても

厳しい稽古で、しかも年々日数が増えていくのに、毎年多くの卒業生が参加しています。中には仕事を休むことなく全日程をこなす熱心な者もいます。

来年、寒稽古は11日間になっているはずですが。最初から11日間も寒稽古をやっていたらこんなに続くことはなかったでしょう。我々卒業生が寒稽古を通して得たものを、後輩たちに教え、後輩はその次の世代へ伝えていく。今までの10年にわたる積み重ねがあったから続けてくることができたのです。

私たちが積み重ねたものの一部を確認しに、来年も寒稽古に参加するつもりです。

(剣道部ではOBと現役学生が協力して10周年記念部誌を製作中!)



# 一言コメント

昨秋のパーティー開催のお知らせに寄せられたコメントをわずかですが掲載します。スペースの都合上、編集をさせていただいたものもありますが、ご了承ください。

## 1期生

山崎（旧姓：武田） 麻子

2001年11月に挙式し、今年2月男の子を出産しました。現在、育児に追われ忙しい日々です。

大島孝直

都内の特許事務所に勤務し、商標事務を担当しております。現在の目標は法科大学院への進学です。

加藤理砂

9月（株）三陽商会退職。10月ヒューゴボスジャパン（株）入社。9月まで『バーバリーブラックレーベル』にて店長をやっておりましたが、ステップアップの為、転職しました。

島野亜希子

大学卒業後、金融業界にどっぷりつかっており、局一直線で仕事に追われている日々です。

宇田川徳美

9月初めに、3年10ヶ月のヴァージン・アトランティック航空での乗務を終え、ロンドンより日本へ帰って参りました。

安宅 信太郎

平成14年に（株）日本生科学研究所に入社し、現在ホームヘルパー養成の学校の講座運営をしております。

## 4期生

草野佑理子

（株）東京芸夢に勤務しています。川崎地下街店から横浜ポルタ店に移動になり販売の仕事をしております。

張学艶

拓殖大学大学院在学中

木村奈緒子

私は現在、DTPデザイナーとして、出版物をメインとしたデザインをやっています。

陳政良

就職してから、もう2年半になりました。毎日仕事に追われて忙しいです。

内田宣宏

2004年4月に大宮西口に100席程度のレストランオープンに向けてプロジェクトを立ち上げ実行中です。

川辺 匠

10月1日より、さいたま市にて主に地質・土質調査師として勤務することになりました。

## 2期生

堀内聖巳

2002年3月3日に結婚して足立区にきました。2003年6月2日に娘が生まれました。名前は萌衣（メイ）。

吉田朋子

現在、茨城県谷原村の夢庵に、毎日遅くまで勤務しています。

福田由香

家業で経理事務をしながら、子供達にバレエをおしえています。

間島（旧姓：浅野） 由起子

今年の4月に長女・一葉（かずは）を出産しました。現在5ヶ月。すくすくと大きく元気に育ってます！！

小佐野一磨

11月5日から合併して富士河口湖町になり、町の職員としてやっていくこととなります。住所も勝山村から、富士河口湖町勝山となります。

皆川雅俊

現在は江戸一（株）に勤務しております。職場は『すたみな太郎』水戸店、ひたちなか店を見えています。羽生市には、年に2・3度帰ってくるだけです。

宮崎芳博

卒業してから4年が経ちました。保育士の道を歩み、子どもに囲まれ、幸せな毎日を送っています。

## 5期生

江森聡

ドイツ、デュッセルドルフMarkt REWE在勤です。

林直輝

吉徳資料室学芸員（浅草橋）、骨董ギャラリーさつきや顧問（静岡）として活動しています。

鈴木真理子

昨年卒業しまして4月から東京都渋谷区にある会員制スポーツクラブのフロントの仕事をしています。

鎌倉徹

北海道札幌で私立大の大学院修士課程在学中。論文テーマに行き詰まり、悩んでいるところです。

山口玲香

社会人2年目、川・の鷺沼でプールの先生をしています。すごく楽しくて毎日、がんばっています。

森正輝

社会人生活2年目となり、様々な責任をおう業務を任されるようになり、仕事内容が厳しくなってきましたが、負けずに頑張っております。

降旗可奈子

図書館司書の資格を取り、現在市立図書館で働いています。

## 3期生

谷下謙

2年間の海外留学を終え、帰国、就職し健康に生活しております。

北岡明哲

転職し、富士ソフトABC（株）IT事業本部モバイルシステム部3グループ在籍。11月引越し予定。

小内里枝子

目白大学卒業後、入社した（株）メガネの板垣にて現在もなんとか頑張っており働いております。

渡会（旧姓矢治） 礼子

昨年7月に結婚し今月6日に長女・アヤメ礼芽、を出産しました！！

斉藤有美江

コーセー化粧品販売（株）関東支社にて美容部トレーニングマネージャーとして勤務しております。店頭活動を経て異動してきたばかりなので、まだまだ日々勉強です。

伊佐真梨子

4月から英語の非常勤講師として私学で働いています。悪戦苦闘しながら生徒と戦っています。目白での教職がこうして役に立つとは自分でもあまり予想はしていませんでした。

増岡裕美

東大宮の春野のクリニックに勤務しています。院長先生は肝臓をメインにしているDrなので、アルコール性肝炎にお悩みの患者さん、来院お待ちしております。

## 6期生

本多和美

社会人学生でいた2年間の楽しさの名残をひきずりながら？早くも半年。日々の時間に追われています。課題に追われていた頃が懐かしい気分です。

伊藤誠子

社会人になり、大変な時期が訪れると目白大学での楽しい日々を思い出し、その時その時を乗り越える事ができます。今は営業ウーマンとして張り切っています。

## 一言コメントを募集します！

20文字から100文字の簡単な文章をお寄せ下さい。内容は近況報告、募集、広告、などなど何でも結構です。

件名に「同窓会・一言コメント係」と記入し、学部・卒業年・氏名、そして本文をお書き添えの上、

[kouhou@mejiro-dousou.org](mailto:kouhou@mejiro-dousou.org)

まで送信して下さい。同様に、一撃コラム、広告、または会報へのご意見・ご感想もお待ちしております！

<目白大学同窓会・広報委員会>

# 一撃コラム

自身の夢に向けて

第一歩を踏み出しました



人間社会学部 一期生  
芦 銀花

私は1999年7月に中国の牡丹江（中国北東部にありとても寒い所です）から、留学のため来日しました。留学の目的は漠然としており、日本語の習得と大学で学ぶということでした。しかし、日本で学問を勉強し、日本の文化に触れながら、自分の将来の夢・目標を見つけることが最大の目的であったと思います。

日本語学校で8ヶ月学び、2000年4月に目白大学社会学部入学しました。目白大学を選んだのは、学校案内をみてとても誠実な感じがしたからです。また、勉強をする環境が整っているように感じました。実際に先生方はとても教育熱心であり、一人一人の個性を尊重した教育をいただけたと思います、大変感謝しております。この場をおかりしてあらためて御礼いたします。

留学生にとって日本での生活は楽ではありません。2・3年次に学習奨励費、4年次に国費奨学金をいただけたので、何とか勉強を続けることができました。1・2年生では基礎的な学習を学びましたが、留学生活にも積極的に参加し、とても楽しい学生生活を過ごすことができました。ゼミでは、環境問題のうち、特に環境教育に焦点をあて研究しました。このことが私の学

生生活のなかで、大きな財産になったことと思います。なぜならば、入学した時のテーマであった将来の夢が決まったからです。

私の夢・・・いつか中国へ帰り、中国の環境を考える上で環境教育に焦点をあて、その現状と背景・問題点・改善策について世界的な視点に立ち評価・研究をする。すなわち環境教育の専門家になることです。4月から東京学芸大学大学院環境教育コースに進学し、夢の第一歩を踏み出します。

「白い巨塔」に身をおいて

人文学部 一期生  
佐々木和則

みなさんお元気ですか？開学から10年という月日が流れ、多くの卒業生が社会に出て第一線で活躍されていることと思いますが、私自身は昨年4月より看護師として新たなスタートを切りました。卒業してからこれまでの紆余曲折をお話したいと思っています。

人文学部言語文化学科に在学中は、就職活動を旅行会社一本に絞っていました。希望の職種に就けたものの、結果的に一年もしないで退社。次に偶然見つけたのが、病院の医療事務の仕事で、この転職が大きな転換点となりました。といっても私が勤務していたのは入院ベッド数が19床しかない小さな診療所でしたので、医師や看護師と接する機会が多少ともアットホームなところでした。そこで看護師の働く姿を見て、自分も看護師の道に進もうと決心しました。

看護学校の3年間では、最初の2年間は人体の解剖生理学から各分野の疾患について学び、残りの1年間で実際の病院で臨床

実習を行う一方、毎年冬に行われる国家試験対策の勉強に励みます。学生生活を再び謳歌しつつも非常に中身の濃い時期でした。そして、晴れて昨年4月に看護師として勤めはじめたわけです。

私が現在勤務している東京大学医学部附属病院は、入院ベッド数が約1200床と桁外れに規模の大きい病院で、毎日がまさにテレビドラマの「白い巨塔」状態です。所属は外科病棟で、主に形成外科（美容外科も含む）、口腔外科、乳腺外科の患者の面倒を見ます。乳腺外科や美容外科が入っている為、女性患者の割合が非常に大きいというのが特徴です。大学病院で美容外科の患者がいるというのは、少し変わった病棟かもしれません。



忙しい中でも笑顔を保つ佐々木さん

1年が経とうとしている今では、病棟の雰囲気にも慣れ、医師の診療の介助や入院患者の日常生活全般の介助、医師の指示に基づいた点滴の接続や注射なども行います。場合によっては手術や検査のため、絶対安静が必要な患者さんに対して尿道口からカテーテルという管を膀胱内に留置させ、強制的に尿を排出させ袋に溜めていくといった処置も行います。

看護師の業務内容は、多岐にわたる知識

が必要になってくるため、休日返上で勉強会に参加することが多々あります。看護師の資格は一度取得してしまえば一生ものですが、医療技術は日々進歩しているため、毎日の業務を淡々とこなすだけでなく、常に新しい知識や技術が求められています。

また東大病院は高度先進医療を提供する特定機能病院の認証を受けているため、全国各地の大学病院や外国から患者さんが来ることがあります。薬をもつかむ思いで遠方から来る患者さんの気持ちに少しでも答えられるよう勉強中・・・ですが、既に頭の中はパンク状態です。

転職から進学、そして看護師デビューとあわただしい時間を過ごしてきました。これからは少し時間的余裕をもって働けるようになると思います。できたら久しぶりに母校を訪ね、秋には桐葉祭に顔を出したいと思っています。お世話になった先生方や皆さんにお会いできることを楽しみにしています。その時には、もう少し成長したナースになっているはずですよ。

（編集部注）

平成13年12月に「保健師助産師看護婦法の一部を改正する法律」（平成13年法律第153号）が成立し、平成14年3月1日施行されました。これに伴い、看護婦（女性）及び看護士（男性）は、「看護師」となりました。看護師になるには高校を卒業後、看護系の大学、短大、専門学校で3年ないし4年の専門教育を受け、看護師国家試験に合格すれば、厚生労働大臣から免許が交付されます。準看護師を経て資格を取得することも可能です。

看護師の活躍する場は拡大の傾向にあり、医師よりもその仕事の領域は広く、その道のスペシャリストとしての活躍が期待されています。仕事が基本的に24時間体制という、非常にハードな、しかし遣り甲斐のある仕事です。



# 平成15年度 目白大学同窓会定例総会報告

平成15年11月2日(日)13時から岩槻キャンパス2号館2101号教室にて開催され、熱のこもった答弁が繰り広げられました。詳しい内容はホームページ (<http://www.mejiro-dousou.org/>) に掲載されています。

## 【議事内容】

- 1.課外活動奨励金授与対象団体の選考について  
剣道部、ボランティアサークル「ぼろり」、野球部、ヌリチェンギの各団体に授与されました。
- 2.平成15年度事業報告について  
総会開催、同窓会報発行、懸垂幕・のぼり旗の作成、ホームページの開設、10周年記念パーティー 開催などが報告されました。
- 3.人間社会学部目白大学同窓会加入について  
新宿キャンパス人間社会学部卒業生が本会の会員の仲間入りすることとなりました。
- 4.佐藤学長先生、名誉会長推薦について  
佐藤弘毅学長先生を名誉会長に迎え、本会の発展にご協力していただくこととなりました。
- 5.平成16年度 事業計画 (案)  
主な計画は以下の通りです。
  - ・人間社会学部の同窓会加入の準備
  - ・同窓会報の発行
  - ・母校の課外活動の発展に寄与するために、顕著な活動成績をあげた団体、または個人に奨励金を授与
  - ・留学生の海外支部の発足 (韓国で準備中)



総会の様子



山本会長から奨励金が贈与されました

## 6.新役員選出について

- [会長] 山本加奈子 (人文1期生)  
[副会長] 渡辺尚吾 (人文1期生)、金宰完 (人文1期生)  
[幹事長] 渡辺尚吾 (兼務)  
[事務局長] 大野ひとみ (人文1期生)  
[事務局] 石原慎一郎 (人文1期生)、石川武 (人文1期生)、杉浦達也 (人文2期生)、須永朋秀 (人文2期生)、内田宣宏 (人文4期生)、高井洋子 (人文4期生)、曾根浩一 (人文6期生)、山本卓史 (人文6期生)、宇田川香織 (人社1期生)、大野真智子 (人社1期生)、佐藤香織 (人社1期生)、池田幸子 (人社1期生)  
[広報委員会] 原田秀孝 (人文1期生)、富沢浩樹 (人文1期生)、田中了 (人文7期生)、時田拓央 (人文7期生)、佐藤啓 (人文7期生)  
[企画] 田中謙治 (人文3期生)、松井直樹 (1期生)、野村洋二 (人文3期生)  
[財務] 大野ひとみ (人文1期生)  
[会計監査] 星野和雄 (人文1期生)

※青字は新任役員

## 7.平成15年度決算報告・会計監査報告

### <支出の部>

| 科目決算額備考     |            |              |
|-------------|------------|--------------|
| 平成14年度卒業生会費 | 5,800,000  | 20,000 × 290 |
| 平成14年度繰越金   | 31,549,469 |              |
| 雑収入         | 1,277      |              |
| 計           | 37,350,746 |              |

### <支出の部>

| 科目決算額備考   |            |                    |
|-----------|------------|--------------------|
| 総会・懇親会運営費 | 97,125     | 総会資料コピー代、卒業生の部屋景品代 |
| 記念事業運営費   | 82,686     | 懸垂幕                |
| 消耗費       | 40,792     | 事務用品               |
| 渉外費       | 380,333    | 平成14年度卒業式祝儀等       |
| 会議費       | 27,163     | 飲食代、交通費            |
| 同窓会報作成費   | 167,010    | 印刷代 (2回)           |
| 通信費       | 321,380    | 発送費                |
| 課外活動奨励費   | 978,747    | 吹奏楽部               |
| 広報委員会諸経費  | 124,042    | サーバー使用料、ホームページ作成費  |
| 雑費        | 315        | 銀行手数料              |
| 繰越金       | 35,131,153 |                    |
| 計         | 37,350,746 |                    |

平成15年9月30日現在 (単位: 円)

## 8.平成16年度 予算 (案)

### <収入の部>

| 科目決算額備考      |            |              |
|--------------|------------|--------------|
| 平成15年度卒業生会費  | 11,680,000 | 20,000 × 584 |
| 人間社会学部同窓会準備費 | 1,725,000  | 5,000 × 345  |
| 繰越金          | 35,131,153 |              |
| 計            | 48,536,153 |              |

### <支出の部>

| 科目決算額備考      |            |                |
|--------------|------------|----------------|
| 総会・懇親会運営費    | 700,000    |                |
| 人間社会学部同窓会準備費 | 1,725,000  |                |
| 10周年記念事業運営費  | 3,000,000  |                |
| 消耗品          | 50,000     | 事務用品           |
| 渉外費          | 500,000    | 平成15年度卒業祝儀等    |
| 課外活動奨励費      | 1,000,000  |                |
| 桐和奨学会入会費     | 5,000,000  |                |
| 桐和奨学会年次寄付金   | 1,168,000  | 2,000 × 584    |
| 海外支部準備費      | 200,000    |                |
| 同窓会報作成費      | 1,000,000  | 人間社会学部卒業生送付代含む |
| 通信費          | 1,000,000  |                |
| 広報委員会諸経費     | 200,000    |                |
| 予備費          | 32,993,153 |                |
| 計            | 48,536,153 |                |

平成15年9月30日現在 (単位: 円)

